



**** 《もくじ》 ****

- 1. 平成28年度地域産学連携支援委託事業
 - ☆ NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会総会および第1回セミナー (平成28年6月23日)
 - 2. 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等
 - ☆ 中部異業種間リサイクルネットワーク協議会総会、記念講演会 (平成28年5月26日)
 - 3. 地域外でのセミナー・シンポ・会議等
 - ☆ 農林水産省等のイベント情報のURL
 - 4. 競争的研究資金について
 - ☆ 輸出種苗病害検査手法実用化促進委託事業 (農林水産省)
 - ☆ 研究成果最適展開支援プログラム ステージ3 NexTEP-Aタイプ (JST)
 - ☆ 研究成果最適展開支援プログラム ステージ3 NexTEP-Bタイプ (JST)
 - ☆ 大学発新産業創出プログラム (START) プロジェクト支援型 (JST)
 - ☆ 大学発新産業創出プログラム (START)
 - 技術シーズ選抜育成プロジェクト IoT 分野プロジェクト支援型 (JST)
 - ☆ 産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム (JST)
 - ☆ 先端計測分析技術・機器開発プログラム (JST)
 - ☆ 研究開発成果実装支援プログラム (JST)
 - ☆ 戦略的創造研究推進事業 (CREST) (第1期) (JST)
 - ☆ 戦略的創造研究推進事業 (さきがけ) (第1期) (JST)
 - ☆ 戦略的基盤技術高度化支援事業 (経済産業省)
 - ☆ ICTイノベーション創出チャレンジプログラム (総務省)
 - ☆ 民間の競争的研究資金を10件掲載
 - 5. 新技術情報
 - ☆ 農林水産・食品分野の新技術の紹介 (3件)

◆ 1 ◆ 平成28年度地域産学連携支援委託事業

NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会は、平成28年度総会と第1回セミナーを下記の通り開催します。第1回セミナー及び情報交流会につきましては、会員以外の一般参加ができます。なお、会員以外の方の総会の傍聴は自由です。第1回セミナーの参加費は

無料です。

【開催日時】 平成28年6月23日（木） 14：30～16：45

（受付時間：14：00～）

【開催場所】 ウィンクあいち 1301特別会議室

（名古屋市中村区名駅4丁目4-38）

JR名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面 徒歩5分

ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分

地図：<http://www.winc-aichi.jp/access/>

【通常総会】 14：30～15：30

議題 1) 第1号議案 平成27年度事業報告・収支決算報告・監査報告

2) 第2号議案 平成28年度事業計画・収支予算

3) 第3号議案 役員（理事・監事）の選出

4) その他

【第1回セミナー】 15：45～16：45

講演：「名古屋大学における知的財産の技術移転」

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部教授 鬼頭雅弘 氏

【第1回セミナー案内】 <http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/28-1-semina-160623.pdf>

【情報交流会】 17：00～18：30

場所 ウィンクあいち 1301特別会議室（講演会場と同じ）

参加費 情報交流会のみ有料で 3,500円

【参加申込み】 下記 URL から申込み用紙を開き、所定の項目をご記入のうえ、ファックス又は、電子メールで6月16日（木）までに下記までご送付下さい。

<http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28FirstSeminar.pdf>

【申込先、お問い合わせ先】 特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会事務局
事務局長 大石一史

TEL&FAX: 052-789-4586 E-mail: bio-npo@s4.dion.ne.jp

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学農学国際教育協力研究センター気付

◆2◆ 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等

☆中部異業種間リサイクルネットワーク協議会（CRN）総会・記念講演会等

【開催日時】 平成28年5月26日（木）

【開催場所】 総会と記念講演会 名古屋国際センタービル 5階 第1会議室

地下鉄 国際センター駅下車 TEL:052-581-567

交流会 キャッスルプラザ名古屋 地下1階 ヒストロ・ド・ファントムール

【総会】 13:30～14:50 第1号議案～第6号議案、その他

【記念講演会】 15:00～16:40

「混沌の世界で日本はいかに生き抜くか？」

愛知淑徳大学教授 真田幸光 氏

【交流会】 17:00～19:00

キャッスルプラザ名古屋 地下1階 ビストロ・ドファンドール

【会費】 会員 記念講演会・交流会 共に無料、但し、交流会2人目から1人5000円

ビジター 講演会1000円 交流会 5000円

【申込み】 下記の事項をご記入の上、下記メールアドレス宛にお送り下さい。

・総会への出の有無、記念講演会への参加の有無、交流会への参加の有無

・会社名 ・氏名

E-mail: t.esaki0417@nifty.com 江崎 忠男様宛て

◆ 3 ◆ 地域外でのセミナー・シンポ・会議等

○農林水産省農林水産技術会議事務局では、農林水産関係の国立研究開発法人等の開催するイベントを紹介しています。イベントカレンダーのURLは下記の通りです。

<http://sto.affrc.go.jp/event/calender>

○国立研究開発法人農研機構が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/index.html>

○公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.jataff.jp/>

◆ 4 ◆ 平成28年度競争的研究資金等について

☆平成28年度輸出種苗病害検査手法実用化促進委託事業 (農林水産省)

http://www.maff.go.jp/aupply/itaku/160426_1.html

分野等：重要な種子伝染性病害について輸出相手国等に通用する国際的な検査手法を確立して、広く周知することにより、国内で検査が実施できる環境の整備に資する。

公募期間：平成28年4月26日～5月23日

☆研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) ステージ3：NexTEP-A タイプ (JST)

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h28nextep-a-1.html>

分野等：企業ニーズを踏まえた、企業による大学等の研究成果に基づく研究シーズの実用化開発を支援する。

公募期間：平成28年4月1日～7月29日

.....
☆研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP） ステージ3：NexTEP-B タイプ （JST）

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h2/8nextep-b-1.html>

分野等：大学等の研究成果に基づく実用性が検証されているシーズのうち、研究開発型企業の比較的小さな規模の実用化開発を支援する。

公募期間：平成28年3月7日～6月10日
.....

☆大学発新産業創出プログラム（START） プロジェクト支援型 （JST）

<http://www.jst.go.jp/start/boshu/index.html>

分野等：大学等にて、事業プロモーターのマネジメントのもと、市場や出口を見据えて事業化をめざす研究開発プロジェクトをJSTが支援する。

公募期間：平成28年3月9日～6月20日
.....

☆大学発新産業創出プログラム（START） 技術シーズ選抜育成プロジェクト〔IoT分野〕 （JST）

<http://www.jst.go.jp/start/iot/jigyo/index.html>

分野：若手研究者の技術シーズを発掘し、選抜、育成することで、STARTの事業プロモーターへの提案につなげることを目的とする。具体的には、事業プロモーターに技術シーズの独創性や優位性を示すための試作品を製作する。

公募期間：平成28年3月14日～5月30日
.....

☆産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム （JST）

<http://www.jst.go.jp/opera/koubo.html>

分野等：産業界との協力の下、大学等が知的資産を総動員し、新たな基幹産業の育成に向けた「技術・システム革新シナリオ」の作成と、それに基づく非競争領域としての産学共同研究を通して、基礎研究や人材育成における産学パートナーシップを拡大し、我が国のオープンイノベーションを加速する。

公募期間：平成28年3月25日～6月6日
.....

☆先端計測分析技術・機器開発プログラム 平成28年度 最先端研究基盤領域 （JST）

<http://www.jst.go.jp/sentan/koubo/index.html>

分野等：最先端の研究開発やものづくり現場での計測・分析ニーズに応える、創造的独創的な先端計測分析技術・機器及びその周辺システムの開発を推進する。

公募期間：平成28年4月1日～5月12日
.....

☆研究開発成果実装支援プログラム （JST 社会技術研究開発センター）

<http://www.ristex.jp/examin/proposal.html>

分野等：多くの人々が解決を望む社会問題の解決に向けて、研究開発成果の実装に取り組む活動を支援し、その対象領域としては

(1)人口減少と高齢化が更に進行することによって生ずる課題

- (2)環境・エネルギー・資源や食料などに関わる課題
 - (3)都市や地方の創生に関わる諸課題
 - (4)国民の安全・安心に関わる諸課題（災害の復旧・復興を含む）
 - (5)社会的弱者の支援・健全なこども・青少年の育成に関わる課題
- などを重視する。

公募期間：平成28年4月12日～6月16日

.....
 ☆戦略的創造研究推進事業（CREST）（第1期）」（JST）

<http://senryaku.jst.go.jp/teian.html>

分野等：環境変動に対する植物の頑健性の解明と応用に向けた基盤技術の創出等

公募期間：平成28年4月13日～6月8日

.....
 ☆戦略的創造研究推進事業（さきがけ）（第1期）」（JST）

<http://senryaku.jst.go.jp/teian.html>

分野等：

- (1)フィールドにおける植物の生命現象の制御に向けた次世代基盤技術の創出
- (2)情報科学との協働による革新的な農産物栽培手法を実現するための技術基盤の創等

公募期間：平成28年4月13日～6月1日

.....
 ☆研究開発型ベンチャー支援事業／シード期の研究開発型ベンチャーに対する事業化支援（NEDO）

http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100107.html

分野等：シード期の研究開発ベンチャーが必要とする研究開発及び事業化に必要な資金、並びに活動を、VC等とNEDOが協調して支援する。

公募期間：平成28年4月15日～5月27日

.....
 ☆戦略的基盤技術高度化支援事業（経済産業省）

<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/2016/160415SenryakuKoubo.htm>

- 分野等：1. デザイン開発に係る技術、2. 情報処理に係る技術、3. 精密加工に係る技術、4. 製造環境に係る技術、5. 接合・実装に係る技術、6. 立体造形に係る技術、7. 表面処理に係る技術、8. 機械制御に係る技術、9. 複合・新機能材料に係る技術、10. 材料製造プロセスに係る技術、11. バイオに係る技術、12. 測定計測に係る技術

公募期間：平成28年4月15日～6月9日

.....
 ☆ICTイノベーション創出チャレンジプログラム（I-Challenge!）（総務省）

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000167.html

分野等：情報通信審議会最終答申において、「2030年に求められるサービス像」を実現するために必要となる「国が取り組むべき技術開発分野と具体的プロジェクト」

クト」として、次の7つの具体的プロジェクトが例示されている。

- (1)いつでもどこでも快適ネットワーク技術
- (2)G空間高度利活用基盤技術 (Tokyo 3D Mapping)
- (3)以心伝心ICTサービス基盤
- (4)フレンドリーICTサービス技術
- (5)社会インフラ維持管理サービス技術
- (6)レジリエント向上ICTサービス技術
- (7)車の自動走行支援基盤技術

本事業の公募対象となるは、上記7つのプロジェクトをはじめ、幅広くICTそのものの技術や、農業、医療、交通、教育などの異分野とICTとの融合をはかるなどにより、社会へ大きなインパクトをもたらす可能性を持つ、革新的な技術やアイデアを活用した新事業の創出を目指し、POC (Proof of Concept : 概念検証) に取り組む技術開発課題。

公募期間：平成28年4月21日～(28年度中はいつでも応募可能)

.....
『民間の競争的研究資金』

☆公益財団法人 科学技術交流財団：「育成試験事業」

分野等：大学、研究機関が保有する研究シーズの実用化を目指したテーマ

委託費：1件当たり190万円程度

採択予定件数：2件程度

研究期間：委託契約日～平成20年2月28日

対象者：提案主体は愛知県内に事業所を有する中堅・中小企業

募集期間：平成28年4月14日～5月20日(金)

募集概要：<http://www.astf.or.jp/project/suishin/ikusei/cat90/bosyu.html>

応募方法：事前に必ず科学技術コーディネーターに連絡し、所定の申請書類を科学技術交流財団理事長に提出する。

提出・問合せ先：(公財) 科学技術交流財団 科学技術コーディネーター 田尻耕治

電話：0561-76-8325 E-mail：tajiri@astf.oro.jp

.....
☆株式会社 大垣共立銀行：「第3回 OKBアグリビジネス助成金」

趣旨：将来のアグリビジネスの担い手を育成するために特徴的な取組・研究を行う農業高校、実用化の高い研究を行う研究者及びアグリビジネスに係る実用化の高い商品・サービスの開発ニーズを持つ事業者に対して研究費用を助成することで、地域のアグリビジネスの成長・発展に寄与する。

対象者：農業高校部門、研究者部門、事業者部門に分けて募集が行われます。

<農業高校部門>

将来のアグリビジネスの担い手を育成するために特徴的な取組・研究を行う、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県内の農業高校(農林高校を含む)。1農業高校で複数申請が可

能です（担当教員による申請）。

<研究者部門>

大垣共立銀行「アグリビジネスサポートデスク」連携学術機関（注1）に所属し、実用化の高いアグリビジネスに関する研究を行う研究者（1研究者で複数申請が可能です。研究者の単独申請）。

注1）名古屋大学、岐阜大学、中部大学、長浜バイオ大学の4大学

<事業者部門>

岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県内の大学（短大を含む）及び公設試験研究機関とアグリビジネスに係る共同研究もしくは受託研究を行う岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県内の中小事業者及びNPO法人の方（1事業者で複数申請が可能です。事業者、研究者との共同申請）。

募集要項：http://www.okb.co.jp/company/agribusiness_guideline.html

助成総額：3部門合わせて総額300万円

助成率上限：農業高校部門と研究者部門は研究経費の100%、事業者部門は研究経費の80%。採択件数目安として、それぞれ、数件、2件程度、2件程度。

公募締切日：平成28年5月13日（金）、提出は郵送のみ、当日消印有効

問い合わせ先：〒503-0887 岐阜県大垣市郭町3丁目98番地

大垣共立銀行支店部情報渉外課「アグリビジネスサポートデスク」

担当：小川、築瀬 電話0584-74-2196

E-mail: bizmatch@okb.co.jp

.....
☆三菱UFJ技術育成財団：「平成28年度研究開発助成金」

<http://www.mutech.or.jp/whatsnew/index.html>

分野等：技術水準から見て新規性のある機械、システム、製品等の開発で、原則として2年以内に事業化が可能なもの

公募期間：平成28年4月1日～5月31日

.....
☆公益財団法人住友財団：「基礎科学研究助成」

<http://www.sumitomo.or.jp/>

分野等：理学（数学、物理学、化学、生物学）の各分野及びこれらの複数にまたがる分野の基礎研究で萌芽的なもの（それぞれの分野における工学の基礎となるものを含む）。

公募期間：平成28年4月15日～6月30日

.....
☆公益財団法人住友財団：「環境研究助成」

<http://www.sumitomo.or.jp/>

分野等：

一般研究：環境に関する研究

課題研究：喫緊の環境問題解決のための学際研究または国際共同研究

公募期間：平成28年4月15日～6月30日

☆公益財団法人井上科学振興財団：「井上リサーチアワード」

<http://www.inoue-zaidan.or.jp/f-03.html>

分野等：自然科学の基礎的研究で優れた業績を挙げ、更に開拓的発展を目指す若手研究者の独創性と自立を支援することを目的とし、これまでの成果を踏まえ、単独で又は共同研究者の協力を得て行う将来性豊かな研究計画を対象として助成する。

公募締切日：平成28年7月29日

☆公益財団法人中部電気利用基礎研究振興財団：「平成28年度助成」

<http://www006.upp.so-net.ne.jp/refec/youryou28.pdf>

分野等：電気、電子、情報、通信、応用物理、土木、建築、機械、応用化学、メカトロニクス、新素材、エネルギー、環境、バイオ、複雑系科学、農水産、家政、保健衛生、技術史等の他、電気の効果的な利用の拡大に関連する基礎研究

公募締切日：平成28年8月24日

☆公益財団法人関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団：「平成28年度研究助成」

<http://www.krf.or.jp/research>

分野等：エネルギー・リサイクル分野、総合防災科学分野

公募期間：平成28年1月5日～8月31日

☆公益財団法人ホクト生物科学振興財団：

「平成28年度ホクト生物科学振興財団助成先公募」

<https://www.hokto-kinoko.co.jp/etc/bio.php>

分野等：バイオテクノロジーを主体とする調査・研究・技術開発等で新規な内容を擁し、将来にわたってバイオテクノロジー等生物科学の研究開発に一定の貢献をするものと認められるもの。

公募期間：平成28年8月31日

☆公益財団法人島津科学技術振興財団：「研究開発助成（平成28年度）」

<http://www.shimadzu.co.jp/SSF/h28bosyu.html>

分野等：科学技術、主として科学計測およびその周辺の領域における基礎的な研究

公募期間：平成28年4月1日～9月30日

◆ 5 ◆ 新技術情報

☆農林水産関係分野等の新技術情報の紹介

水稲関係：平坦部向け飼料用米専用品種を選定しました

岐阜県農業技術センターは、家畜に与える輸入飼料の代替品として、水田で作付される飼料用米を安定的に多収するために、地域に適応する品種の選定と、目標収量を得るための窒素施肥水準を明らかにしました。

研究成果として、平坦地向きの品種として収量性の点から、中生品種「北陸193号」と「もちだわら」を有望としました。また、目標粗粒収量を900kg/10アールとすると、窒素施肥量は12kg/10アール必要となることを明らかにしました。但し、「もちだわら」では若干収量が下回りました。

岐阜県農業技術センターホームページ：<http://www.g-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>

.....

園芸関係（野菜）：共同育種で開発された種子繁殖型イチゴ品種「よつぼし」

イチゴの繁殖は、従来はランナーから小苗を切り離して株を増やす「栄養繁殖」によって行われてきました。三重県農業研究所は、香川県、千葉県と農研機構九州沖縄農業研究センターとの共同育種によって、種子で繁殖させる全く新しいタイプの品種を開発し、品種名「よつぼし」として品種登録出願（平成26年1月10日、第28844号）を行いました。

種子繁殖型品種は、増殖効率が非常に高く、病害虫に感染していない苗が容易に得られ、従来品種よりずっと省力的な育苗が可能となるなど、イチゴ生産に変革をもたらすニュータイプのイチゴ品種として期待されています。

三重県農業研究所ホームページ：

三重農研成果情報：<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000399716.pdf>

種子繁殖型イチゴ品種「よつぼし」の種子生産許諾申請の受付開始：

<http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/88787000001.htm>

.....

園芸関係（花き）：極めて良い日持ち性を有する画期的なスプレーカーネーション新品種「カーネ愛農1号」を開発

愛知県農業総合試験場は、農研機構花き研究所と共同で、日持ち性が極めて良いピンク色のスプレーカーネーション新品種「カーネ愛農1号」を開発しました。この品種は、日持ち日数が一般的な品種の3倍程度と極めて長く、需要が多いピンク色の花色であるなどの特性を持っています。2015年6月10日に品種登録されました。

愛知県記者発表：<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/nogyo-keiei/0000083675.html>

.....

編集後記

新緑が映え、爽やかな薫風の吹く5月の大型連休が終わりましたが、心身ともにリフレッシュされたことと思います。一歩郊外に出ますと田植えが進みつつあり、日本の原風景が蘇ってきますが、さらに、中山間地に入ると田畑に獣害防止の柵が張りめぐらされ、厳しい現実が見られます。目を世界に転ざると、米国では大統領予備選挙が真っ最中で、その趨勢が次第に明らかになりつつありますが、場合によっては、日本にも大きな影響が及ぶことが考えられ、TPPが米国で批准されるのかなど、目が離せません。更に、今月末には、主要国首脳会議（サミット）が三重県の志摩市の賢島のホテルで開催され、世界の喫緊の課題について話し合われますが、どのような共同声明が発表されるのか注目されます。

先月からの大きな出来事としては、地震が少ない地域と言われた熊本県を中心として震度7の激震が2回も起こり、余震が1000回を超える大災害が起こったことです。亡くなられた方が50人を超え痛ましい限りです。ご冥福をお祈り致します。今回の地震は、大活断層である中央構造線に沿って起こっており、この活断層は東海地域では、愛知県三河地域、三重県伊勢・松阪地域等を通っており、南海トラフとともに、今後の活動の活発化が心配されるようです。

ところで、最近読んだ本に、黒川清著「イノベーション思考法」（2008年 PHP 新書発行）があります。著者は、米国で長く医学研究者として研究教育に携わりながら、米国におけるイノベーションを見聞し、「外からの目」で日本企業のビジネス風土や体質に目を向け問題点を指摘しています。イノベーションの原理を提唱したヨーゼフ・シュンペーターの「企業や社会は、成長し、成熟するにつれて保守的になる。そして、これを中から壊していこうとする人達が出てこない限り、いつかは必ず朽ち果てる。したがって、組織が健康的に継続するためには、『創造的破壊』が欠かせない。」を引用しながら、グローバル化の中で勝ち抜くには、失敗を隠して失敗を重ねるな、「出る杭」となることを恐れるな、成功体験にとらわれるな、人材ではなく「企業家精神」を持った人財を育てよ等々、日本社会でイノベーションを起こすのに必要なことを述べています。先月号で紹介した、ドラッカーのイノベーション論とは異なる点、あるいは共通点があって面白いと思います。
===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・道村

TEL&FAX 052-789-4586

E-mail: bio-tech.co*go8.enjoy.ne.jp *を@に書き換えてください

URL <http://www.biotech-tokai.jp/>